

東京海上 日本株TOPIXファンド

東京海上アセットマネジメント

格付： C-3



CLUB ALCHEMISTA

主に東証一部の上場銘柄に投資を行う投資信託です。

属性 投資信託

対象 東証一部の上場銘柄等

利回り -2.13%

概要

「TMA日本株TOPIXマザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に日本の企業（日本法人）の株式に投資し、TOPIX（東証株価指数）に連動する投資成果の達成を目標として運用する。3月決算。

リスク

流動リスク:	N/A
価格リスク:	基準価格
為替リスク:	-
信用リスク:	N/A
その他:	N/A

※N/Aは、該当なし (not applicable)

運用元：東京海上アセットマネジメント株式会社

Web: <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

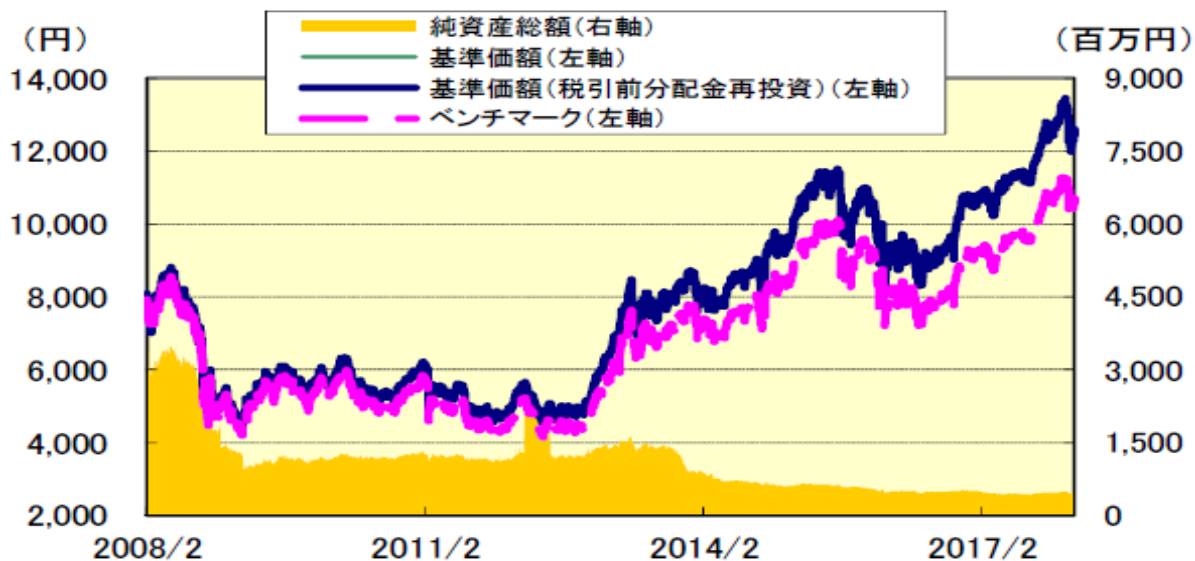
所在地：東京都千代田区丸の内1-8-2

鉄鋼ビルディング

Summary

2月の国内株式市場は、TOPIXが3.73%、日経平均株価は4.46%下落。セクター動向は、株価が下落する中で業績の安定度が高い医療機器を含む精密機器や医薬品が騰落率の上位となった一方、先行きの業績が不安視された海運業やゴム製品などが騰落率の低位となった。なお、現在の保有銘柄数は1,077銘柄となっている。今後の国内株式市場は、米国の金利と株価、為替動向、海外の政治や地政学的リスクなどが意識されて不安定な値動きが続くことが予想され、さらに今後の朝鮮半島情勢や混迷の度合いを強めている中東情勢、ドイツやイタリアなど欧州の政治不安等、不安材料は尽きない。米ドル円為替レートは1米ドル=110円割れの水準が続いており、為替の前提が円高方向に引き直されると新年度の国内企業の増益率は市場の期待に到達しない可能性が高まることになる。また、期待されている賃上げが不発に終わると「賃上げ→消費増→デフレ脱出」のシナリオを描くアベノミクスが頓挫することになりかねず、その場合には2019年10月に予定されている消費増税の実施を確実なものにするために、財政出動による経済対策の可能性が高まると予想している。以上を踏まえ、リターン面を「C-」、リスクを「3」と判断する。

基準価額・純資産総額の推移



Note: 本資料は格付情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としているものではありません。資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。本資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。

Copyright (C) 2018 Club ALCHEMISTA